

2024.3.2



龍ヶ崎ゲヴァントハウス【オリジナルCDコンサート】

隠れた名曲・佳曲を集めて 第11回

プログラム

新会場での初めての「隠れた名曲・佳曲を集めて」の特集です。今日はその第11回目をお送りします。ロシアの名指揮者**スヴェトラノフ**は手兵ロシア国立交響楽団との来日やNHK交響楽団への客演で日本でもなじみ深い指揮者ですが、同時に作曲家としても数多くの作品を残しました。1951年にモスクワ音楽院に入学し、指揮をアレクサンドル・ガウク、作曲をミハイル・グネーシンに学び、1955年からポリショイ劇場の指揮者、1965年から2000年までロシア国立交響楽団(旧ソヴィエト国立響)の首席指揮者を歴任。「詩曲」は大ヴァイオリニスト、**ダヴィッド・オイストラフ**を偲んで書かれた曲で、もの悲しい旋律が心に残る佳曲です。楽器職人の父親とピアノを弾くポーランド人の母親のもと、ウクライナ、キーウで生まれた**グリエール**はモスクワ音楽院でセルゲイ・タネーエフ、アントン・アレンスキー等に作曲を師事。1901年にベルリンに留学し、指揮法をオスカー・フリートに学びました。3曲の交響曲、有名な「赤いけし」を含む6曲のバレエ音楽の他、室内楽作品などもあります。協奏曲に名曲が多く、コロラトゥーラ・ソプラノと管弦楽のための協奏曲、ハーブ協奏曲と並んで**ホルン協奏曲変ロ長調**はこのジャンルの名作の一つで、ポリショイ劇場管弦楽団の首席ホルン奏者ヴァレリー・ポレフの依頼により1951年に完成、その年の4月10日にレニングラードでポレフの独奏、グリエール指揮レニングラード放送響によって初演されました。ホルン奏者泣かせの超絶技巧を駆使したロマン色の強い名曲です。ロシア、サンクトペテルブルク生まれの大作作曲家**ショスタコーヴィチ**は、15曲の交響曲をはじめ多くの分野で傑作を残しましたが、協奏曲はヴァイオリン、チェロ、ピアノそれぞれ2曲ずつの作品を書きました。**ピアノ協奏曲第2番へ長調**は1957年51歳の時に作曲、当時モスクワ音楽院に在学中だった息子のマキシム・ショスタコーヴィチ(指揮者1938~)のために書かれた作品で、曲はマキシムに献呈され、1957年5月10日にマキシムのピアノ、ニコライ・アノーソフ指揮モスクワ・フィルによって初演されました。単純明快、楽しさ満載のしゃれた作品ですが、美しい旋律を奏でる第2楽章もこの曲の魅力のひとつです。**タネーエフ**は、ロシア、ウラディーミル生まれで、5歳からピアノを始め、モスクワ音楽院でピアノをニコライ・ルビンシュテイン、作曲をチャイコフスキーに学びました。1875年卒業後はピアニスト、作曲家として活躍、1875年11月にチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番のモスクワ初演、1882年5月には第2番の世界初演でピアノを担当、モスクワ音楽院の和声・楽器法の教授を経て1881年にはピアノ科教授になりました。弟子にはスクリャービン、ラフマニノフ、グラズノフ、プロコフィエフ、グリエール等がいます。**交響曲第4番ハ短調**は1898年に完成、その年の3月21日サンクトペテルブルクでグラズノフの指揮で初演、グラズノフに献呈されました。第一楽章の主題が各楽章に表れる循環形式を用いた名曲です。

エフゲニー・スヴェトラノフ (1928~2002) :

ヴァイオリンと管弦楽のための 詩曲 “ダヴィッド・オイストラフの思い出に”

加藤知子(ヴァイオリン) / エフゲニー・スヴェトラノフ指揮NHK交響楽団
(1999.2.26 NHKホールでのLive)

レインゴリト・グリエール (1875~1956) :

ホルン協奏曲変ロ長調Op.91

第1楽章 アレグロ 第2楽章 アンダンテ 第3楽章 モデラート-アレグロ・ヴィヴァーチェ

ラデク・バボラーク(ホルン) / ドミトリ・キタエンコ指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(2010.5.29 ベルリン・フィルハーモニーホールでのLive)

*** 休憩 ***

ドミトリ・ショスタコーヴィチ (1906~1975) :

ピアノ協奏曲第2番へ長調Op.102

第1楽章 アレグロ 第2楽章 アンダンテ 第3楽章 アレグロ

ジョン・オグドン(ピアノ) / デイーン・デイクソン指揮シドニー交響楽団
(1975.9.22 シドニー・オペラハウスでのLive)

セルゲイ・タネーエフ (タニエエフ) (1856~1915) :

交響曲第4番ハ短調Op.12

第1楽章 アレグロ・モルト 第2楽章 アダージョ 第3楽章 スケルツォ・ヴィヴァーチェ

第4楽章 アレグロ・エネルジーコーモルト・マエストーソ

ネーメ・ヤルヴィ指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(2010.12.15 ベルリン・フィルハーモニーホールでのLive)

★ホームページアドレス <https://gewandhaus.sakura.ne.jp/wp/>